

今週のモーニングセミナー報告

令和5年5月31日（水）の講話 <第942回>

テーマ：「かがわの地魚について」

講師：香川県漁連協同組合連合会 西森夏樹 様

（松浦清貴 会長）今日は葉17条・人生神劇。先日の倫理経営講演会でご出席いただいた、宇野さん達は、大阪から5年前に津田町に移住されたいいのですが、田舎暮らしにあこがれて来たといわれてました。大阪では長く倫理の事務局の仕事もされていたので、万人幸福の葉をいつも身近に持っていますとのことでした。この方が、17条のように、その主役は己自身である。こういう人生もあるのかなーと思いました。本日の講話者、西森様はお魚のことについて講話。私も子供のころには毎日のように海で魚釣りを楽しんでいましたと自身の体験を披露して講話者を紹介。

（西森 夏樹 様）地元東かがわ市で生まれました。昔から海大好きで毎日海で魚を釣りに行っていました。お魚大使に応募した時の事。ほとんど女性、期間も一年という中男性のスタッフに選ばれ2016年に選らんでいただき 毎年替わるころを7年目になっています。香川県知事からの委嘱状を頂き、スーパーでの試食販売などイベントに参加しています。海岸をきれいにということで三豊の海岸清掃にも参加。唎酒師の資格も。瀬戸内海の魚が豊富な内容の説明、川が流れ込む養分、プランクトンの豊富さ、潮の流れが速い、海水温の差が大きい、魚の取れる場所が近い。香川の旬の魚、カタクチイワシ、養殖魚含めて、漁獲高が北海道に次いで。春：サワラ。夏：マナガツオ。秋：クロダイ（チヌ）。冬：海藻。伊吹島のイリコ（カタクチイワシ）は捕ってから30分で海水でゆでる。タコは一年しか生きられないなど。ハマチを学ぼう～：出世魚：ワカナ→ツバス→ハマチ→メジロ→ブリ。一度に海藻に卵を150万個産卵、高知沖で捕って、2年間生育して、それを買ってきて瀬戸内で養殖する。昭和初期日本で初めて野網和三郎さんが安土池でハマチの養殖に成功したのが始めて。その他、クイズを出しながらひけたぶり・なおしまはまち・オリーブハマチの説明など楽しいお魚の講話でした。

担当者：赤山 芳隆

東かがわ市三本松出身。2017年に男性で初めてお魚大使に選ばれ、小さなチャレンジ好きであって、のど自慢にも出演して、やしきたかじんの弟子になりかけたりした。瀬戸内海には400種類の魚がいる、春は鱈、夏はマナガツオ、マダコ、イリコ、秋はクロダイ（チヌ）、冬はブリと季節の魚を紹介されました。イリコ漁は2つの船で網を引っ張ってイリコを捕獲するパッチ漁の話をされました。またハマチ3兄弟は引田鰯、なおしまハマチ、オリーブハマチについても話され知らないことも多くあったので勉強になりました。県内外でイベント、メディアに出演して香川の海の幸PRしているとのこと。おさかな検定一級、小豆島オリーブマイスター、野菜ソムリエ、お肉検定一級、きき酒師、かがわ海ゴミリーダー、かがわ里海ガイド、さぬきうどん研究会幹事と幅広く活躍されているのだなあと思いました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは6月7日（水）朝6：00～7：00 南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「不純な動機で皆勤賞、モーニングセミナーに感謝」と題しまして（一社）倫理研究所 法人局 法人レクチャラー 中岡富茂 様のご講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 17社 17名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001
メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp